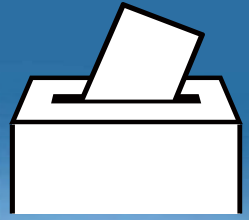


鳥取県立美術館 ロゴ・シンボルマーク 一般投票



鳥取県立美術館（2025年春開館予定）の象徴となるロゴ・シンボルマークづくりを、誰もが参加できる公募型ですすめています。応募された約1700点のなかから、一次審査を通過した作品について、オンライン一般投票を実施します。ぜひご参加ください！



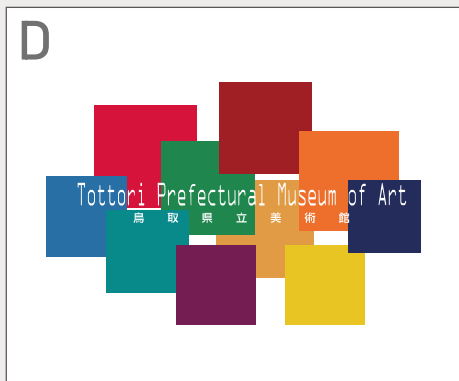
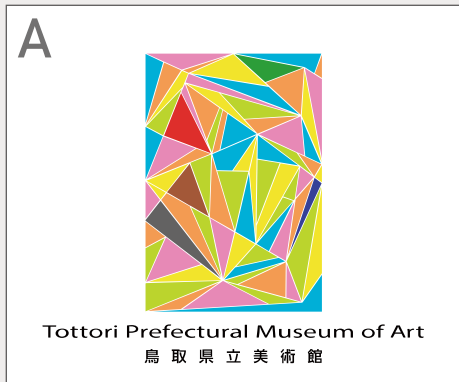
- ① 公式LINEアカウントを「友だち追加」
- ② トーク画面から「一般投票」へ
- ③ 1つを選んで投票！



@tottori_moa

- ・投票は1つのアカウントにつき1回のみとなります
- ・一般投票の結果は、最終審査において、審査員1名分として扱います
- ・最優秀賞等の発表は2023年3月を予定しています

▼ 候補作品 ▼



(全6点・順不同/手描きの作品など必要に応じて作者の了解を得てデザイン調整を施しています。採用後に実用化を踏まえて再度調整を行う場合があります。)

▼プレサイトにはデザインコンセプト一覧も掲載しています



投票期間

2022年9月1日～30日

応募総数 1726 点！みなさまご応募ありがとうございました！

鳥取県立美術館ロゴ・シンボルマークの公募事業は、2022年4月に告知をはじめ、応募期間（7月7日～7月21日）の間に、全部で1726点のご応募がありました。

最年少は3歳から、最年長は80代の方まで！

プロのデザイナー、学生の方、親子での合作など、バリエーション豊かな作品の数々が集まりました。

また、小学校、中学校、高校、大学などから30校ほどの団体応募も。ご応募いただいた皆様、ありがとうございました！

8月5日にすべての作品を一堂に並べて一次審査を実施し、審査委員評議の結果、候補作品を選定しました。

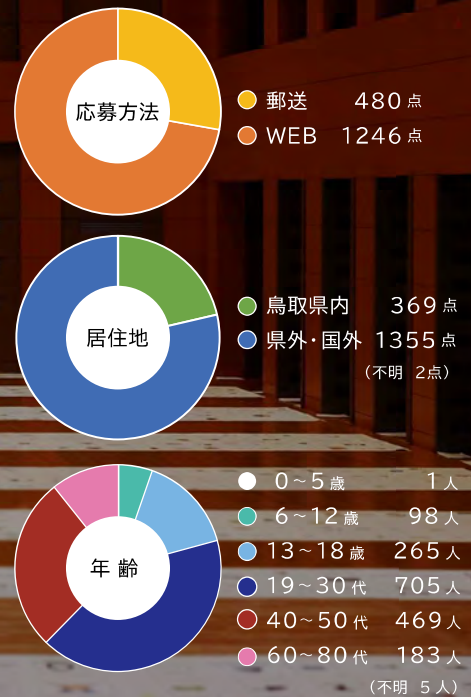
9月のLINE一般投票ではこの中から1点を選んでいただきます。

ぜひデザインをじっくり吟味して、投票をお願いします！

この結果は10月の最終審査において審査員1名分として扱います。

最終審査の結果発表（最優秀賞、優秀賞、特別賞）は2023年3月の予定。

どうぞお楽しみに！



一次審査の様子（2022年8月5日 鳥取県立倉吉未来中心にて）

OPENNESS！

2025年春、『未来を”つくる”美術館』が鳥取県に誕生します。

鳥取県立美術館は、50年にわたる鳥取県立博物館美術部門のコレクションと活動を引き継ぎながら、収蔵スペースや常設展示室を拡充し、ワークショップルームの新設や「アートを通じた学び」を支援するアート・ラーニング・ラボ（A.L.L）等の教育普及部門の充実によって、だれもが芸術文化にいつでも触れることができる環境を整備します。

また、鳥取県ゆかりの優れた美術に加え、広く国内外の優れた美術・文化や、同時代の美術の動向を示す作品の収集を継続的に行うことで、時代とともに成長を続ける魅力的なコレクション形成を図ります。

おみどうはいじあと

史跡大御堂廃寺跡に向けて広がる活動空間は、まちとのつながりを生み、フリースペースを多く設けた開放的な大屋根のある建築の下では、多様な人々、アート、文化との出会いと創造性を日常的に促し、おおらかに来館者を迎えます。

施設整備・開館準備期においても、美術館づくりの進捗をオープンにし、だれにでも開かれた“ともにつくる”しくみで推進し、地域や文化施設と連携しながら、県内全域にひろがる多彩な事業を展開していきます。



◀ 詳しくはウェブサイトへ

検索 鳥取県立美術館



提供：横総合計画事務所 イメージ制作：ヴィック Vicc Ltd

2022.8月発行